

タイトル	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
包みボタンでクリスマスリース作り	高	合科 Ⅱグループ (家庭科)	刑部千恵子

<ねらい>

- ・針に糸を通せるようになる。
- ・玉結びや玉留めができるようになる。
- ・ボタンを付けられるようになる。

<内容>

- 1 木綿針に木綿糸を糸通しを使って糸を通す。
- 2 二本取りの糸を玉結びをして、点線を引いたハギレの線上を縫い、玉留めをする。
- 3 包みボタンキットを使って、包みボタンを9個作る。
- 4 直径20cmの刺繍枠に布を張り、包みボタンをクリスマスツリーのように並べ、印を付けておく。
- 5 1と2の要領で玉結びをして、包みボタン9個を印のところに縫い付ける。
- 6 リースの中や刺繍枠にクリスマスらしい飾りをグルーガンで付ける。

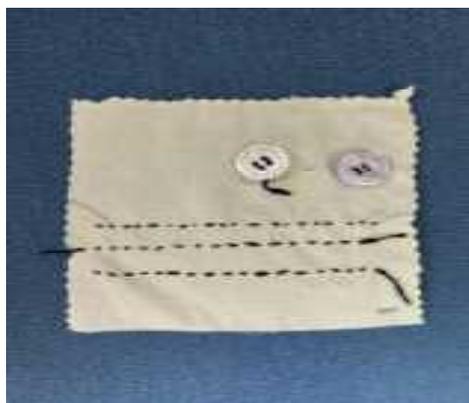
<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- ・糸通しのときに、糸を湿らせて先をまとめたり整えたりするが、コロナ禍なので個別に小さいスポンジを用意して、指先を湿らせたり針山の代わりにしたことで衛生的に行えたと思う。
- ・糸通しを使ったことで一人でできる生徒が増えた。
- ・包みボタン作りは、男女ともに興味を持って取り組むことができた。
- ・数回の授業で終わったので、繰り返し玉結びや玉留めの練習が必要と感じている。

<参考資料>

- ・NHK 「ひとりのできるもん はじめての手芸・工作」

<玉結び 玉留め ボタン付け>



<クリスマスリース>

